

令和7年度第2回小牧駅広場等整備基本計画に関する有識者会議 会議録

1 開催日時 令和7年12月25日（木） 午後2時から午後3時20分まで

2 開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

3 出席者

(1) 小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議委員

中部大学人文学部歴史地理学科 教授	大塚俊幸
名城大学理工学部建築学科 教授	生田京子
小牧商工会議所 副会頭	秦野利基
小牧駅前まちづくり研究会 代表	加藤紀文
特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク 代表理事	林義人
小牧小学校区地域協議会 会長	丹羽祐二
小牧市地域活性化営業部長	石川徹
小牧市都市政策部長	舟橋朋昭

(2) 事務局

小牧市都市政策部次長	川島充裕
小牧市都市政策部都市整備課長	大澤正人
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係長	田中一平
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師	坂野祐輔
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師	野田茜音

(3) 傍聴者

10名

4 欠席者

中部大学工学部都市建設工学科 教授	磯部友彦
-------------------	------

5 議事

(1) 開会

(2) 議題

① 小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況について

(3) その他

(4) 閉会

6 会議資料

資料 検討案（計画平面図）

- 参考資料1 委員名簿
- 参考資料2 現況平面図
- 参考資料3 小牧駅西地域冷暖房について
- 参考資料4 第1回会議資料（計画平面図）

7 議事内容

【事務局】

大変お待たせいたしました。定刻を少し過ぎてしまい申し訳ありませんが、ただいまより、令和7年度第2回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の大澤です。

よろしくお願ひいたします。

はじめに、本会議は公開会議として開催しております。

ここで、傍聴者の皆様へ改めてご案内申し上げます。

会場内での写真撮影、録画、録音等は禁止とさせていただきます。また、会議開催中は、静肅に傍聴していただきますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。

次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

次第、資料 検討案（計画平面図）、参考資料1 委員名簿、参考資料2 現況平面図、参考資料3 小牧駅西地域冷暖房について、参考資料4 第1回会議資料（計画平面図）でございます。

資料につきましては、事前に委員の皆様へお送りさせていただいておりますが、本日お持ちでない方は事務局までお知らせください。よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

なお、会議資料につきましては、会場内のモニターにおいて、会議の進行にあわせて表示いたしますので、参考にご覧ください。

次に、前回7月10日の会議以降、委員の交代がありましたので、ご紹介させていただきます。参考資料1 委員名簿をご覧ください。

特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワークの代表理事の交代があったことに伴い、名簿番号6番、市民活動団体又はNPO法人の代表者としまして、これまでの関委員に代わり、特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク代表理事 林 義人 様 に新たに委員にご就任いただきました。林委員におかれましては、お手元に委嘱状を配付させていただいておりますのでご査収ください。

なお、本日は、中部大学工学部都市建設工学科教授の磯部委員におかれましては他のご予定によりご欠席と伺っております。また、名城大学理工学部建築学科教授の生田委員におかれましては、オンラインで会議にご参加いただいておりますが、他のご予定により、概ね1時間を目途に退室されますので、ご報告させていただきます。

なお、前回同様、小牧駅前広場等整備基本計画策定支援業務委託の受注者であります株式会社国際開発コンサルタンツの担当者も同席しておりますのでご報告いたします。

それでは、ここで、事務局を代表しまして、都市政策部次長の川島より挨拶を申し上げます。

【事務局】

皆様、改めまして、こんにちは。都市政策部次長の川島でございます。

本日は、年末のご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より、市政各般に渡り、ご理解、ご協力を賜っており、感謝を申し上げます。

さて、この「小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議」につきましては、現在、本市で検討を進めております「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定に当たり、交通、中心市街地活性化及び商業振興をはじめとする まちづくりの視点で必要な議論を行うため設置させていただいたものであり、第1回目の会議を本年7月に開催させていただいたところであります。

第2回目の本日は、前回会議以降の経緯等も含め、現在の検討状況についてご説明させていただき、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたします、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして会議の開催にあたりまして、大塚会長よりご挨拶をいただきます。

【大塚会長】

有識者会議の会長を務めさせていただいております中部大学の大塚でございます。

この会議は、小牧駅前広場に対し、それぞれの立場からご意見をいただく場です。駅前広場は通常、公共交通や自動車の結節点としての機能がメインですが、小牧市の場合はそれに加えて「にぎわいの拠点」、つまり街の中心として人が集まる機能を併せ持つことを目指しています。少子高齢化が進む中、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方で街を作っていくかなければなりません。ヨーロッパの街が広場を中心できているように、小牧駅前広場もそのような可能性を持っていきます。やり方次第では全国から注目されるものになるでしょう。何を作るかだけでなく、どう利用すれば使いやすいかという観点から考えていくべきだと思います。

本日は皆さんの立場から忌憚のないご意見をいただき、市の計画策定の後押しになるようなアイデアをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは次第の2議題に移ります。

以後の進行につきましては、大塚会長にお願いをしたいと思います。

【大塚会長】

それではお手元等の次第に沿いまして進行させていただきたいと思います。

(1) 小牧駅前整備計画基本計画の検討状況についてを議題とさせていただきます。この件につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議題（1）「小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況について」ご説明申し上げますが、本日の内容につきましては、市としての考え方・検討案をお示しするものであり、名古屋鉄道株式会社をはじめ関係者と合意を図ったものではありませんので、ご承知おきください。少し長くなりりますので、着座にて失礼させていただきます。

はじめに、前回7月10日に開催しました第1回目の会議から少し間がございましたので、改めて第1回目の会議でご説明した内容等を簡単に説明させていただきます。

小牧駅前広場につきましては、本市としてピーチライナーの撤去跡地の活用やグランドデザインに位置付けた様々な課題解決を含めた再整備の必要性と、名古屋鉄道株式会社として現在の名鉄小牧駅ビルに関する将来的な施設更新等の課題解決の必要性などから、同社と連携・協力し東西の駅前広場や都市公園のみならず名鉄小牧駅ビルも含め一体的に捉え、再配置案の検討を進め、小牧駅前広場等整備基本計画を策定することとしたものであります。

参考資料4をご覧ください。こちらは、第1回有識者会議の会議資料と同様のものであります。駅前広場空間の東西分断要素となっている駅ビルを現在のバスロータリーの位置である駅前広場南東部に再配置し、空いた空間を活用して、東西分断がなく、多様な使いができる一体的な広場空間を配置する案としてお示ししたものであります。また、駅前広場南東部の民間ホテル用地については、ホテル及びそれに付帯する機能が検討されており、現在の名鉄小牧駅ビルにあるようなホールは検討されていないことを、あわせて説明させていただきました。

有識者会議委員からは、「シンボリックなデザイン」や「保育園」、「交番」など様々なご意見をいただいたところでございますが、その中で現在の駅前広場にある機能に対するご意見として、「天候に左右されず雨でも交流できるスペース等の確保」や「ある程度のキャパがあり、交通の便が良い場所に多目的に使えるホールが必要」といったご意見をいただいたところであります。

次に、その後の検討状況をご報告させていただきます。

前回の会議後、小牧商工会議所からも、会食に対応した多目的ホールの継続について強い要望をいただきました。

現在の名鉄小牧駅ビルのホールにつきましては、平成16年に名古屋鉄道株式会社が運営から撤退するとの話があった際、小牧商工会議所は、ホールの必要性から自らが施設を借り受ける形で「小牧コミュニティホール」として営業を継続されました。その後、令和元年には再び名鉄小牧ホテルのホールとなりましたが、オープンしてから現在までの35年間、大規模な行事の開催場所となるなど、地域の企業、団体及び住民の皆様に広く利用されているところであります、今後も無くてはならない施設と認識されています。市としましても、本市の中心市街地におけるにぎわい・交流の場であると考えており、第1回有識者会議における委員からのご意見や小牧商工会議所からの強い要望を重く受け止め、ホテル用地に建築するビルにおいて市が多目的ホールの床を取得することも検討しましたが、現駅ビルに同等の機能があることや、建築費高騰を受け取得額が相応の金額になることなどから、名古屋鉄道株式会社に対し、同社によるホテル用地での会食に対応した多目的ホールの機能確保を要請しましたが、合意には至らず、ホテル移設による多目的ホール機能の確保は断念し、現駅ビルのままでの駅前広場等の整備を計画する案を考えたところであります。

ここで、資料の1枚目、「案①の平面図」をご覧ください。こちらの計画平面案は、会食に対応した多目的ホールを確保するため、現駅ビルのまま東西駅前広場を整備する案で、現駅ビルのホール等の既存機能を確保しつつ、東西のロータリーや公園を再整備する案となっています。東側につきましては、現在の駅東公園とバスロータリーの位置を入れ替え、シンボルロード沿いの南側に都市公園を整備し、Park-PFIにより飲食店を設置するなどにぎわいの創出を図ろうとする案であります。会食に対応した多目的ホールに対する強い要望がある一方で、名古屋鉄道株式会社がホールを再整備することが難しい状況を受け、前回の会議以降、こちらの案を軸に同社と調整を進めているところであります。

そうした中、本年12月1日に東邦ガス株式会社から、市が区分所有しているラピオビルについて、地域冷暖房の熱料金改定の通知がありました。

ここで、参考資料3「小牧駅西地域冷暖房について」をご覧ください。地域冷暖房とは、エネルギーセンターで冷水・温水・蒸気をつくり、地域導管を通じて一定地域内の建物に冷暖房や給湯を行う冷暖房方式のことであります。小牧駅周辺においては、今から35年前の平成2年に供給が開始され、概ね小牧駅から再開発ビルラピオまでのエリアを供給区域とし、芝生広場となっている駅西公園の南側にある小牧ガスビル内にエネルギーセンターが設けられております。ラピオビルや名鉄小牧駅ビルはこの地域冷暖房により、冷房・暖房・給湯を行っているところであります。地域冷暖房については、省エネルギーの推進、建物スペースの有効活用、省力化などのメリットがありますが、一方で、熱源設備の建設費及び更新費が高額となる場合があることなどのデメリットがあります。

今般の東邦ガス株式会社からの通知によりますと、安定供給の観点から、長期使用を前提に、老朽化した大型設備の更新等を控え、多くの大型投資、10億円程度と聞いておりますが、これが必要となる見込みであり、さらに、昨今の諸物価・人件費等の高騰もあり、このままでは事業継続は困難であることから、令和9年度から熱料金の増額改定を実施することになりました。これにより、市が区分所有するラピオにおきましては、年間数千万円単位の増額となると見込んでいるところであります。なお、熱料金の増額改定に合意できないという場合については、令和11年度末をもって熱供給を終了することになりました。

現駅ビルの取扱いについては、名古屋鉄道株式会社の経営判断によるところではありますが、これまで地域冷暖房のコストや建物の老朽化に伴う施設更新等の課題があることに加え、今回の熱料金の増額改定が行われることにつきましては、同じ供給区域内の名鉄小牧駅ビルでも同様と思われ、また、地域冷暖房から他の冷暖房システムへ切り替えるためには新たなスペースの確保や設備投資が必要となると思われるため、市として、現駅ビルの継続を前提とした案①とは別に、現駅ビルの継続を前提としない案についても検討したところであります。

ここで、資料の2枚目、「案②の平面図」をご覧ください。こちらの資料につきましても、市としての検討案の一つであり、決定した内容ではございませんが、南東部に民間ホテルと公共施設として多目的ホールを合わせた建物を整備するという案であります。ただし、ホテル機能の導入については、民間事業者の実施判断によりますので、ホテルを行う民間事業者がいる場合には、多目的ホール等の公共施設のみの建物となります。

本日は、はじめにご説明しました「案①：現駅ビルのまま東西駅前広場を整備する案」と、ただ

今ご説明しました「案②：駅前広場南東部に民間ホテルと多目的ホールを合わせた建物を整備する案」の2つの案をこれまでの検討結果としてご報告させていただきましたが、案②の現駅ビルの継続を前提としない案については、あくまでも市としての想定に基づく検討案であることから、現状を踏まえた案である案①の計画平面にて、基本計画の策定を進めていくことを考えております。

なお、基本計画の策定にあたりましては、関係機関との協議を行った後、改めて当会議にて計画案をお示しさせていただき委員の皆様からご意見をいただくとともに、パブリックコメントを実施し市民の皆様のご意見も伺う予定であり、計画策定時期としましては、令和8年5月頃を見込んでいるところであります。

その後は、策定した基本計画に基づき、駅東バスロータリーの設計、市道小牧駅西線の一方通行化に向けた詳細検討に着手していく予定としております。

また、基本計画には、整備後の管理に関する考え方についても、お示しする予定としております。「にぎわい・居心地の良い空間の創出」といった効果を十分に発現させるためには、整備内容だけではなく、再整備後の管理・運営についてもあわせて検討することが重要であると考えております。そのため、施設の維持管理と施設を活用した集客イベント等の企画・運営などを合わせて民間まちづくり団体等に事業委託し、民間的視点も取り入れながら、ハード面とソフト面の管理・運営を一体的に実施し、柔軟性や即時性の高い管理・運営を期待するものであり、基本計画には、こうした管理・運営体制についての考え方を定めていきたいと考えております。

以上で、議題（1）「小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況について」の説明とさせていただきます。

【大塚会長】

ありがとうございました。

この件について、欠席の磯部委員から事前にご意見・ご質問等ありましたら、事務局から報告を願いします。

【事務局】

本日ご欠席の磯部委員に対しましても、本日の会議資料をもとに、先ほどご説明をさせていただきました内容を事前にご説明をさせていただいております。磯部委員より3点ご意見を頂戴しておりますので、報告をさせていただきます。

1点目は案①について、駅ビルによる東西の分断を解消するため、ビル1階を開放的にするなど工夫が必要であると頂戴しています。

2点目は、一般車ロータリーについて、道路区域の取り方を工夫することで、待機場や転回スペースのレイアウトの幅を広げができるというご意見を頂戴しています。

3点目は、市道小牧駅西線の一方通行化や案②で示す駅西側の一般車ロータリーの出入口が北側道路のみになることについて、トランジットモール化まで言わないにしても歩行者や公共交通の優先化を進める方針を基本計画に盛り込むことで、駅前空間の価値向上につながるとのご意見を頂戴しました。

【大塚会長】

ありがとうございました。磯部委員のご意見・ご質問の報告を含めて、案のご説明をいただきました。委員の皆様からご意見・ご質問をいただきたいと思います。

【秦野委員】

民間事業者の意見は気になるところではありますが、案①には Park-PFI による飲食店の記載がありますが、案②には、広い広場が発生するのですが Park-PFI による飲食店の記載がありません。小牧駅周辺は従来から飲食店が少なく遠方から訪れた方が飲食する場所がないと言われています。案②に Park-PFI による飲食店の記載がないのはなぜでしょうか。

【大塚会長】

案①に Park-PFI による飲食店の記載があるが、案②には記載がないことについて、事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局】

現状の小牧駅前広場は、中央に名鉄小牧駅ビルがあります。地下には名鉄小牧線が通っており、名古屋鉄道の私有地となっています。その東側、仮設駐輪場及び桃花台線跡地の地下は、県道名古屋犬山線が通っており道路区域となっています。駅西側の一般車・タクシーロータリー及び駅西公園の地下には、市営小牧駅地下駐車場があります。平面では見えない地下の空間が小牧駅前広場では多く使われています。

一方で駅の東側、駅東公園やバスロータリーの箇所には地下構造物はありません。例えば、地下構造物があるところに店舗等を建築しようとする場合、土地の所有の関係や地下の構造物の影響から、案②の公園予定地の地下には、先ほど申し上げた各種地下構造物があり、土地の所有も異なっているため、店舗等の建築が難しいことから現時点では図示しておりません。一方、案①の東側は地下構造物がないため、比較的建築しやすい場所として記載しました。

【秦野委員】

ご説明ありがとうございます。理解できました。

前回の会議で出た「雨に濡れずに移動できるシェルターや屋根」のようなものは設置できるのでしょうか。

【事務局】

図示はしていませんが、雨や日差しを避ける屋根を設ける必要性は考えておりまして、今後の設計の中で配置や形状を検討していきたいと考えております。

【大塚会長】

地下構造物により制約があり、建物が建てることができる場所と簡易なものを設置することしかできない場所あるということですね。生田委員が1時間ほどで退席されるとのことですので、先に

ご意見をいただけますか。

【生田委員】

案①において、中央図書館側との歩行者の動線が一般車・タクシーロータリーの車路によって区切られているのが気になります。前回の案では図書館から歩行者空間が駅まで連続して入ってくるようなものとなっていましたが、今回の案①では分断されているように見えます。

【事務局】

案①②とともに、市道小牧駅西線の一方通行化や石畳風の舗装など、歩行者優先の考え方は共通しています。図書館から駅までの横断については、横断指導線を設けて東西の移動ができるように考えています。

案①で一般車・タクシーロータリーの車路が伸びている箇所には、現在、タクシー乗り場や車寄せがあり、タクシーや宿泊客が利用する大型バス等が発着していることから機能の維持を想定しています。案①は一般車とタクシーの共用のものとなるため、東西歩行者軸の北側だけの範囲で処理することが難しいところがありますが、案②と前回会議でお示しした計画平面図につきましては、北西部のロータリーは一般車のみの乗降場となるため、東西歩行者軸の北側のみをロータリーとしております。また、案②や前回会議の計画平面図では中央にホテルがないことから、小牧駅前線とつなぐ車路を設けていないところであります。ご意見の通り東西軸は重要視しており、駅前広場での交差が解消できることが望ましいと考えておりますが、案①については先ほどお話しした事情により車路を設置することとしました。

【生田委員】

現状を維持する案においては、いたしかたないこととして理解いたしました。

【大塚会長】

ありがとうございます。磯部委員の東西の分析についてのご意見と繋がるよう思います。いずれにしても、歩行者の東西の移動をスムーズに行うことができるよう工夫が必要であるというご意見だと思います。

磯部委員よりあった一般車ロータリーでの道路区域の取り方を工夫することについて、具体的な内容をお聞きになっているようであれば、ご説明お願ひしたいと思います。

【事務局】

現在のバスロータリーは道路区域に指定されておりますが、再整備に際してバスロータリーを道路区域からは外すことで、道路区域内では不可能な右側に寄せた駐車を可能にする等できるため、レイアウトを考えるうえで幅を広げることができ、使い勝手が良くなり、有効的なスペースができるのではないかとご助言をいただきました。

【大塚会長】

ありがとうございます。

前回、駅前で会議ができるようなコンベンション機能が必要だというご意見があり、移設した民間ホテルで確保可能かという議論を行いましたが、民間でコンベンション機能を持つことは難しいということで、現状のホテルでコンベンション機能を維持する方向になっています。コンベンション機能を維持するにあたり、地域冷暖房をどのように行うかという課題があり、解決できない場合、現在のホテルを維持するのは難しいという判断になる可能性があるということです。

既存の事業者が事業をされている状況で、いかに交通をスムーズにしながらコンベンション機能を含めて、どのようにぎわいを生む空間を設けるのかについてアイデアがあればお聞きしたいと思います。

【加藤委員】

公園を一体的に使える案②の方が望ましい形だと感じます。現状の制約を理解しますが、大きな建物でなくても簡易な店舗を設けることは考えられると思います。

また、案①または案②いずれにしても、整備完了まで長い年月を要します。その期間も日々使いながらにぎわいを維持することが重要だと思います。駅周辺で継続的に市民が楽しめるような形で開発を進めていただきたいと思います。

【事務局】

継続的ににぎわいが創出されるようにするためには、整備内容だけではなく、施設の管理・運営体制の検討も重要であると考えております。施設の維持管理と施設を活用したイベント等の企画・運営を民間団体等に一体的に実施することで、民間的視点や使う側の目線での管理・運営が期待でき、継続的ににぎわい創出にも繋がると考えているところであります。

【大塚会長】

ホールが駅前には必要という考え方があるため、今あるものをどう活かしていくのかということで案①があり、加藤委員のご意見の通り、整備完了までの間どのように繋げていくのかを考えた一番現実に近い意見だと思います。

【事務局】

ホテル移設によるホール機能の確保が難しいということで、現状の建物を活用し、東側に広場を設け、Park-PFIによる民間事業の参入があれば、新たにぎわいが生まれると考え、案①で基本計画を策定していきたいと考えています。

【大塚会長】

生田委員、1時間ぐらいで退席をされるということですがそろそろ時間が近づいていますので、退席される前にまだ言い残されていることがあればご発言をいただきたいと思いますけれどもいかがでしょうか。

【生田委員】

計画としては案②の方が目指すべき方向性の実現には近いものではないかなというように思うのですが、様々な社会的状況などを考えて案①ということも理解いたしました。

【大塚会長】

ありがとうございました。

会場の委員の皆様いかがでしょうか。ほんの些細な事実確認でも結構です。まずは正しく理解していただくことが重要だと思いますので委員の方々からお聞きしたいと思います。

【林委員】

市道小牧駅西線の一方通行化について、中央図書館の入り口から先を道路ではなくして、完全に歩行者空間として塞いでしまうことはできないのでしょうか。これまで、市道小牧駅西線を歩行者専用にしてしまい中央図書館前の広場と小牧駅前広場を一体的に利用する案もあったと思います。車にとって不便な方が、歩行者や住むひとにとっては過ごしやすい街になるのではないかと思います。

【事務局】

検討を行いましたが、北側に東春信用金庫本店駐車場の出口があることや、中央図書館の駐車場が満車だった場合の車の逃げ場、つまり転回スペースを道路区域内で確保することが難しいという事情があります。また、地下には電線共同溝が埋設されているため、現時点では道路区域から外すのは難しい状況です。

【大塚会長】

その他にご意見・ご質問ありますか。

【秦野委員】

交流の拠点となるホールが存続するかどうかが最も気になります。現在の名鉄小牧ホテルのホールは年間 350 日ほど稼働していると聞いています。商工会議所としても、このホールは残していくだくよう小牧市に要望をあげました。事業者だけでなく地域の様々な団体や市民が利用しており、ホールが残らないとなると駅周辺への来訪者数に相当な影響が出ると思います。

案②で市がホールを設置するとなると、かなりの予算が必要になると思います。また案①②ともにロータリーの移転などで多額の費用がかかるはずですので、限られた財源でどこまでやれるのか財政的な視点からの確認も必要であると感じています。

【事務局】

具体的な事業費については、設計を経て積算した上で決まるものであり、予算については議会の議決が必要となりますので、現段階でお示しすることは難しいですが、概算の規模感は庁内で検討しています。今後、予算など何らかの形でお示ししていきたいと考えております。

【大塚会長】

いずれにしても費用のことを十分に考えたうえで計画を決定しないといけませんが、それをなおざりにしてしまい事業を進めることが目的になってしまうことがありますので、よく考えないといけないという意見だと思います。

他にいかがでしょうか。

【丹羽委員】

先ほどの生田委員のご意見・ご質問に関連しますが、案①については、バスロータリーの東側にある駐輪場を移動させるなどして、タクシー乗り場を東側に集約すれば、西側のホテル前の車路は無くすことができるのではないかでしょうか。ホテルの車寄せについては、東側のバスロータリーで代替することもできると思います。

【事務局】

名鉄小牧駅ビル前の車寄せ機能をバスロータリー側で処理し、駐輪場の箇所をタクシーとバスのロータリーとすることで、駅西広場内の歩行者動線と車との交差を解消できるのではないかというところでありますが、ホテルのフロントが西側を向いているため、建物の構造上、裏側となる東側にホテルの車寄せに類する機能を設けるのは難しいと判断しております。

【大塚会長】

貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。いただいた意見を踏まえ、基本計画の策定を進めていただければと思います。

それでは、次第の「3その他」に移ります。その他として何かありますでしょうか。

【事務局】

皆様、貴重なご意見をありがとうございました。事務局より1点、今後の予定についてご連絡させていただきます。

先ほどもご説明させていただきましたが、基本計画の策定にあたりましては、関係機関との協議を行った後、改めて当会議にて計画案をお示しさせていただき委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。その後、パブリックコメントを実施し市民の皆様のご意見も伺う予定であります。計画策定時期としましては、令和8年5月頃を見込んでいるところであり、次回の会議につきましては、年明け、パブリックコメント実施前に開催させていただき、計画素案に対するご意見を頂戴できればと考えております。

詳細な日程につきましては、改めてご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

【大塚会長】

ありがとうございます。

その他、何か発言がありましたらお願ひします。

特に発言がないようですので、進行を事務局へお返しします。

【事務局】

本日は年末のお忙しい時期にも関わらず会議にご出席いただきありがとうございました。

それでは、これをもちまして令和7年度第2回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を閉会します。

本日はありがとうございました。